

米沢興譲館 SSH通信

第6号

平成24年9月25日

米興高SSH企画部

先日、気象庁より今年の8月の天候についての発表があり、北・東日本の平均気温では平年を1℃以上上回るなど猛烈な暑さに見舞われたと報じられた。その暑い最中の8月8日、9日に平成24年度スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会が神奈川県横浜市、パシフィコ横浜で行われた。この研究発表会は文部科学省によりSSHの指定を受けた178校の生徒が日ごろの研究成果を発表しあい、生徒の科学技術に対する興味関心を一層喚起させる事を目的に行われている。

今年度から再びSSHに指定された米沢興譲館でも、三年理科数の小出将太、山口真実、西山萌乃の三名が『植物による塩害土壌の再生』という題目で、塩害土壌の再現や、塩分濃度による発芽の違い、アイスプラントによる除塩効果などの実験を行った。暑い夏の間、一生懸命に資料作りを励み、発表を行ってきた三人の感想を見てみよう。



発表会場となったパシフィコ横浜

SSH指定校178校が一堂に会する SSH生徒研究発表会



研究と発表から学んだこと

三年一組 小出 将太

『SSH生徒研究発表会』に参加してきました。そこで自分たちの研究発表を行い、他校の発表を見てきました。私達は学校の研究発表で行った除塩の実験をより深めて発表に臨みました。夏休みに宿題よりも優先して夜遅くまで実験や資料作りを行いました。

発表は二日間で、ポスター発表、口頭発表、ポスター発表(二度目)の順で行われました。私は人前で話すことは得意ではないのですが、ポスター発表は少人数に対して行うのであまり抵抗がなく、数をこなすにつれて慣れてきました。また同様に、説明をすることで理解が深まりました。説明が一通り終わると質問をされる方がいます。自分達でも気付かなかった様々なことを指摘されて、聞きながら感心することもありました。

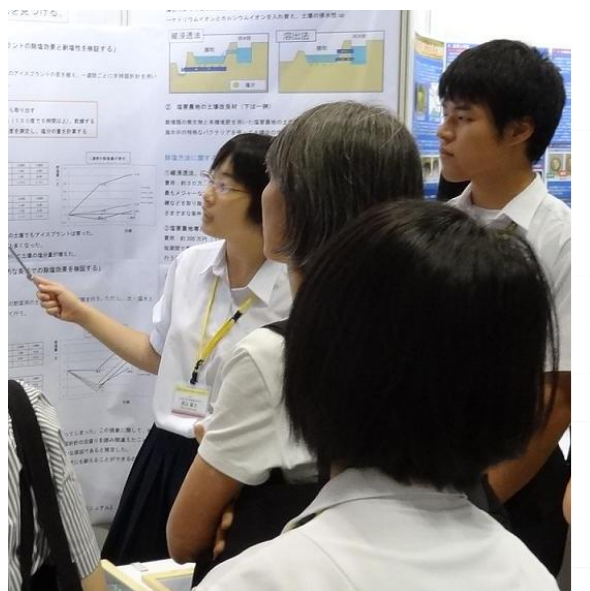
この発表会の中で、人の役に立つような研究がたくさん目に入りました。原発事故による放射性物質の飛散や原油輸送船事故、エネルギー問題、塩害など様々です。私は、自分のしている研究が何の役に立つのか考えてみるのもいいと思いました。現在研究を行っている理科二年生の皆さんの活躍に期待しています。

私の夏休み

三年一組 山口 真実

この二日間は、全国各地からやってきた理科の高校生が集い、自分たちの研究について話をしたり、アドバイスをもらったり、相手の研究について話をしたりする、理科漬けの二日間となりました。こんなにたくさんの方と触れ合うことができる機会は滅多にないので、とてもいい経験になりましたし、何より様々な人と話をするのは大変楽しかったです。そして全国の高校生の理科に対する学習意欲の強さや、プレゼンの上手さ、研究内容の濃さなど、いろんなことに刺激を受けました。

今、子供の理科離れが問題となっているとこの二日間たくさん聞かされてきました。子供が理科を嫌いになる理由の一つに『難しいから』とありました。実は私も理科は好きですが、難しいなあと感じる分野もよくあります。しかしこの二日間で分野の好き嫌いをせず科学と向き合うことで、さらに科学を好きになり、今まで気づかなかった科学の面白さも知ることができました。理科を単に難しくそうと考えると、敬遠するのは勿体無いことだと思います。科学への疑問を持ち、研究を通して疑問を解決できた喜びや、科学の知識を知った時の感動が味わえるものが科学の魅力だと思いました。そんな魅力にたくさん触れることのできた二日間でした。



一生の宝もの

三年一組 西山 萌乃

横浜で行われたSSH生徒研究発表会は私にとって本当に興味深いものでした。全国の学校が集まる発表会なので、専門性が高すぎてついていけないのではないかと、と出発前は不安になることもありましたが、日常の素朴な疑問をつきつめて発表させた発表も多く、高校生らしい着眼点のテーマでレベルの高い研究がなされていました。

私たちは二日間にわたってブース発表を行い、同時に他校の発表を聞きました。その中で私達と同じテーマを別の方法で取り組んでいる学校の生徒と知り合うことができました。同じ目的の研究でも気付かなかった観点が存在することに気づき、意見を交換することができました。私は今まで理科として活動してきて、課題研究などの自分の疑問を追究し、解決する機会があるのは理科のような少数派だと感じていました。しかし、全国でこれほど多くの私達と同じ高校生が研究を行っていることを、私はこの発表会に参加するまで知りませんでした。また、学校によっては全発表を英語で行い、海外校の生徒とも通訳を通さず受け答えをしていて、同じ高校生とは思えない場面もありました。

この発表会では、大学の教授や参加者から、私達の研究に対しての厳しい指摘や助言など様々な意見を頂きました。他校の生徒との交流も含めて、一生の宝ものになる有意義な体験だったと思います。理科として最後にこのような経験をさせていただけてありがとうございました。